

## 演劇の魅力、楽しさ、面白さ

演劇と聞くと、みなさんどのようなイメージが浮かびますか？私がよく言われ

るのは「何だか難しい」「よく分からない」「抽象的でメッセージ性が強そう」などです。確かにそうかもしれない！とも思いますが、劇を実際に観ると案外そんなことはありません。

最初に演劇サークルの経緯を紹介させていただきます。私は高校で演劇部に所属していました。大学に入ってから演劇をしたいと思っていました。演劇部が

無かったので、同じ学科の友人と演劇同好会を立ち上げました。現在は3年生4名、4年生4名の8人で活動しています。立ち上げた2021年はコロナ禍の影響もあり活動が難しく、リモートでの演劇鑑賞などの活動をしていました。

翌年、新入生が入ってくれたことで活動の幅が広がりました。週に一度の基礎練習ができるようになり、22年12月には初めての公演も行いました。23年も12月に公演を行い、今年の4月には新入生歓迎会でのステージ発表も出来ました。7月の大学祭での公演も予定しています。

私が演劇を好きだと思ふ理由は、自分が生きる世界とは別の世界で生きる体験ができるからです。人間の人生は一度きり、生きる世界は一つです。しかし、新しい台本で新しい人生を生きられます。片

思いをする女子高生や異国のお姫様、心が読める妖怪など、何にでもなれます。演じるだけでなく、照明や音響、舞台装置などで世界をつくることもまた魅力の一つです。この体験は、なかなか他の活動では得られないものではないでしょうか。脚本や演出に隠されたメッセージも、受け取り方は観客の皆さんに委ねられています。

「これが正解だ！これを分かってくれ！」というのではなく、一つの演出から同じ解釈が生まれることも、多くの解釈が生まれることもあって良いものなのです。

演劇サークルは今、3年生がメインで活動しています。1・2年生がいないので、一人でも後輩が入ってきてくれたらいいなと思います。そして、演劇って面白いなと感じてくれる方が増えたらいいなとも思います。難しいそうだな、でも気になるなという方は一度観劇してみてください。

大学祭でもお待ちしております。社会保育学科4年 吉田珠樹

「これが正解だ！これを分かってくれ！」というのではなく、一つの演出から同じ解釈が生まれることも、多くの解釈が生まれることもあって良いものなのです。

演劇サークルは今、3年生がメインで活動しています。1・2年生がいないので、一人でも後輩が入ってきてくれたらいいなと思います。そして、演劇って面白いなと感じてくれる方が増えたらいいなとも思います。難しいそうだな、でも気になるなという方は一度観劇してみてください。

大学祭でもお待ちしております。社会保育学科4年 吉田珠樹



ので、一人でも後輩が入ってきてくれたらいいなと思います。そして、演劇って面白いなと感じてくれる方が増えたらいいなとも思います。難しいそうだな、でも気になるなという方は一度観劇してみてください。